そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は1年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。9月定例会では、17名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

河川のいっ水対応には気象と上流の情報を！

西塚　和音（創造）

その他のテーマ
- ▶気象情報の把握と活用は
- ▶鉄道に影響を出さない対策は
- ▶道路拡幅などの優先順位は

◆被害の拡大を食い止めるには

①台風9号の被害で市民からのご意見などは。
②不老川上流(入間市)のいっ水情報を得てから下流がいっ水するまでの間に何ができるのか。

市民部長 ①情報発信の手段やタイミングなどについて多くの意見があり、いただいた意見は真摯に受けとめ、今後の災害対応に生かしていく。
②不老川沿いの浸水があった地区へ情報提供や注意喚起、土のうの設置が考えられるが、不老川上流でいっ水が発生する前から、気象情報や水位を踏まえ迅速な対応を行う。

◆入曽地区の都市計画道路

県道所沢狭山線以外に、入曽駅周辺に都市計画道路がない理由は。また、道路拡幅の手段として都市計画道路を指定しては。

都市建設部長 入曽駅東側に所沢狭山線が、北側に川越入間線が通っており、都市計画決定の昭和35年当時は、これらの道路が都市間を結ぶという考えのもと、現在に至っている。なお、都市計画道路の指定には、相当の時間が必要と考えるので、まずは、所沢狭山線の未整備箇所の解消に向け県に働きかける。

線路の冠水状況と床上まで浸入した水

高齢者が安心して暮らせるまちを

加賀谷　勉（公明党）

その他のテーマ
- ▶高齢者の生活実態の認識を
- ▶高齢者支援の充実を
- ▶夜間中学の設置促進を

◆高齢者支援の充実を

①「生活困窮者自立支援制度」による高齢者の困窮対策について、成果と課題は。そして、さらに充実すべきと考えるが見解は。
②生活困窮者自立支援制度において、行政は「待ちの姿勢」ではなく「伴走型」の支援が必要で、困窮されている本人の立場に立ち、時に、本人を代弁して関係機関と積極的に調整する役割を担い、必要な支援までつなげることが求められるが見解は。

福祉こども部長 ①新規相談受け付け件数、個別支援プラン作成件数、就労支援対象者数のいずれもが、埼玉県が設定した目標値を達成していることで、成果とすると狭山市の生活保護率の低下に少なからず寄与していると考える。

また、実施体制や市民への周知に課題があり、社会福祉協議会と協議し、相談支援員の資質の向上、福祉事務所やハローワークなどの関係機関との連携の強化に取り組んでいきたい。
②社会福祉協議会との支援調整会議への参加者を拡充させ、関係機関との情報共有や支援内容の調整に努めていきたい。

市民と共に安心安全な入曽駅周辺整備を！

望月　高志（日本共産党）

その他のテーマ
- ▶入曽駅整備のコンセプトは
- ▶市民意見の反映と公表方法
- ▶防災減災観点での駅前整備を

◆入曽駅周辺整備

①入曽駅は、ロータリーや広場がなく道路も狭いことから、朝夕の通勤時などは車と歩行者が錯綜して危険な状態だが、駅周辺整備の方向性は。
②台風9号上陸時、駅周辺は冠水状態になった。今後も同じような被害が考えられるが、災害の対応策は。

都市建設部長 ①入曽駅周辺整備事業の具体的な方向性は、入曽駅周辺の交通状況や周辺の土地利用状況などを踏まえた中で、駅前広場などの公共施設を整備し、入間小学校跡地などを活用し、民間機能を誘致して、地域の新たな拠点を整備する方針である。
②入曽駅周辺の雨水の排水対策は、平成25年度に決定した入間小学校跡地利用計画の中で具体的に示したが、今回策定する入曽駅周辺整備の基本計画(案)の中で再度検討を考えている。また、災害時の避難所の確保として、現状は帰宅困難者の一時滞在施設として指定している入曽公民館を新たに風水害の避難所に指定し、旧入間中学校跡地に移転後は、すべての災害に対応する避難所として指定したい。

誰も追い込まれることのない社会の実現へ

綿貫　伸子（公明党）

その他のテーマ
- ▶若年層の自殺対策強化を
- ▶うつ病予防と認知行動療法
- ▶効果的な自殺対策計画の策定

◆自殺予防教育の必要性

国では、10代・20代の死因のトップが自殺であり、対策を講じなければならないとしている。命が危機にさらされた時の対処法を教育する必要があるのではないか。

学校教育部長 児童生徒自身の命が危機にさらされた際の問題解決能力を高める指導は、大変重要と認識し、各学校で全教育活動を通して命を大切にする教育を推進している。具体的には、悩みを抱える児童生徒に相談窓口の周知を行い、また、ソーシャルスキルトレーニングや人間関係づくりの学習などを充実させている。

◆うつ病などの早期発見で自殺を防ぐ

市で開発中の健康管理に役立つアプリは、病気の早期発見やストレス対処のために、社会資源の情報などの支援策につながるような仕組みを考えては。

長寿健康部長 心身の状況を日々記録し、傾向をグラフ化して、体調の低下を警告する機能と、相談機関やうつ病の予防の情報を提供する機能があるアプリを市民に提供する予定である。

心身ともに健康で！

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧になれない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。☎04-2953-11111 内線3313